

イズミック中部ブロック：展示会 開催！

株式会社イズミックは下記の通り、中部ブロック展示会を開催いたしましたので、お知らせ致します。

■展示会：テーマ ～ 提案！こだわりの地域商品 ～

イズミック中部ブロックでは2019年以来4年ぶりとなる『イズミック2023年展示会』を開催致しました。

今回の展示会テーマは、～提案！こだわりの地域商品～と掲げさせて頂きました。

中部地区で開催される酒類を中心とした展示会では最大級の出展メーカー数と出品商品となります。アフターコロナに向けて、地元製品や飲食シーン、様々なこだわりをもった商品をご提案したいと考え地域密着型の企画提案を行いました。

- ・開催日時・・・2023年7月27日（木曜日）11:00～17:00
- ・開催場所・・・名古屋観光ホテル 3階：那古の間／2階：曙の間
住所：名古屋市中区錦1丁目19番30号
- ・対象拠点・・・株式会社イズミック：中部ブロック拠点
- ・来場者等・・・約1,000名 ※得意先様、メーカー様、その他関係者
- ・出展企業・・・約250社 ※総商品アイテム数…約3,000アイテム

主な展示企画

- ・IZMIC MARKET EYE：SNS等ビックデータを活用したリテールサポートのご提案
「どうなる2度目の酒税改定」「日本のAWA SAKE」「焼酎メーカーが手掛けるウイスキー」
- ・「こだわり東海地酒」・「あなたにオススメのクラフトビール」
- ・「日本ワイン進化と現状」・「飲食シーンのご提案」
- ・イズミックオリジナル商品／清酒、ワイン、リキュール等

☆当社社長盛田より出展企業の皆様にご挨拶☆



☆IZMIC MARKET EYE: SNS 等ビックデータを活用したリテールサポートのご提案



Vol.60 まで発刊中!



国産ウイスキー大集合!



スパークリング清酒を紹介!

☆2度目の酒税改定～改定前後の購買動向を予測～

IZMIC MARKET EYE

どうなる2度目の酒税改正

Q 2023年度の酒税改正の重要点は?

A ビール、日本酒は高税となり、新ジャンルのワインは増税、今回の酒税改正で発泡酒と新ジャンルの税額は一額になります。

Q 2020年と違う点は?

A 主要ビール4社は増減税を両替改定を行います。税額の安い発泡酒についてもコスト上昇による価格改定が行われます。

Q 2020年度の酒税改正の動向は?

A 2020年の酒税改正は酒税改正のあったカテゴリーは前年よりも大きく伸びました。特に酒税改正の直前に大きな動きが起きます。2023年の酒税改正は土曜日、日曜日の休日で採られており、他業種のあるビールは2020年時よりも大きな伸びが期待されます。

Q 2023年10月に酒税改正に際して、ビールが増税、新ジャンルが増税になることを知っているか?

A 酒税の重要については約7割の人は「知っている」「何となく知っている」と回答しています。年代別に見ると、年代が上がるほど認知率も高い傾向にあります。

Q ビールの価格が下がると、ビールの飲む量はどれくらい増えますか? また、新ジャンルの売上が上がるか? 新ジャンルの飲む量はどれくらい増えますか?

A 増税となるビールの飲む量は増えずと回答した人は全体の2.8%と低いです。新ジャンルでは37.7%が増えるという回答が最も多く、ビールは増税額と比べ新ジャンルの増税額が約4割高いことや、減税により価格に敏感になっていることが原因と考えられます。

Q 2023年度の酒税改正のビール動向は?

A 2020年の酒税改正に近い動向になることが予想されます。ビール類については、新ジャンルに加え発泡酒も9月に販路が広がることと考えられます。また、ビール類内の価格帯が狭小されることで、カテゴリー内の売上構成にも影響が出る可能性があります。

今回の酒税改正で発泡酒と新ジャンルの税額が同額に!

☆クラフトビールの市場も伸びています！
～オリジナル4缶パックの売り方をご提案



☆こだわり地酒を取り揃えました！
～東海地区の酒米が大集合

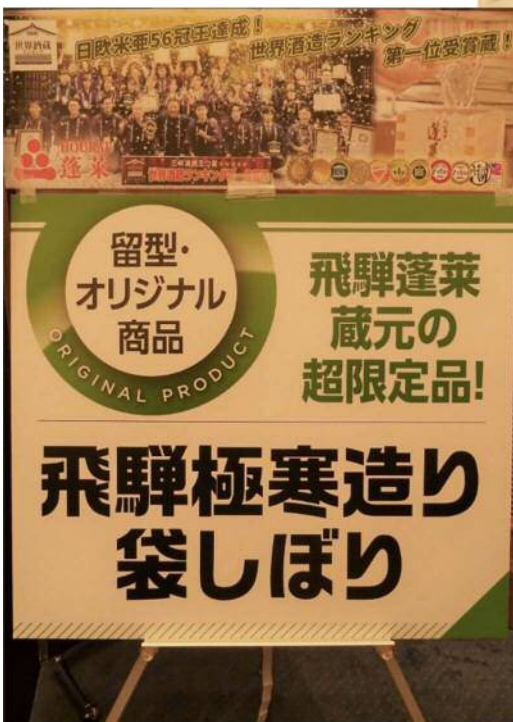


☆世界酒蔵ランキング第1位受賞蔵「渡辺酒造店」とイズミックがコラボレーション

「飛騨蓬萊極寒造り 袋しぼり」 4,872本の限定発売決定！！

袋しぼりとは・・・

日本酒の原液を布の袋に詰め
槽(ふね)の中に袋を積み重
ねる伝統的な絞り方



☆コロナ明け4年振りの開催ともあって、会場は賑わいを取り戻しました！

～もちろん試飲も再開です！

